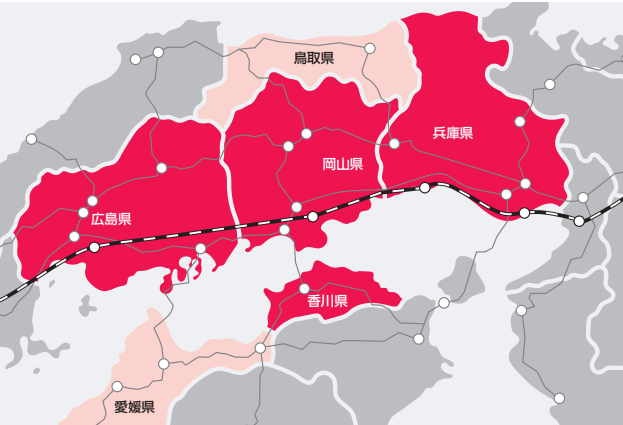


事業基盤

当社グループは岡山県に本店を置き、『東瀬戸内経済圏』（岡山県・広島県・香川県等にまたがる広域経済圏）を事業基盤として活動をおこなっており、事業活動の前提となる地域の特徴や強み・課題について以下のように認識しています。

交通 ～中四国のクロスポイント～

瀬戸内海は古来より国内外を結ぶ海上交通の要衝であり、戦後はその輸送利便性から太平洋ベルトの一角として経済成長を支えました。特に岡山県は本州と四国を結ぶクロスポイントであり、山陽新幹線や山陽本線、山陽自動車道や中国自動車道などが県を横断し、これらと瀬戸大橋線や瀬戸中央自動車道が接続されています。交通網が発展していることに加えて平野が多く、物流等に適していることから、全国のメーカーや流通企業が西日本の拠点として数多く進出しています。



産業 ～製造業の集積地域～

東瀬戸内経済圏は、全国でも有数のコンビナートである「水島臨海工業地帯」など、工業エリアを複数有しており、石油、化学、鉄鋼、自動車等の製造業が集積しています。さらに、ジーンズ・ユニフォーム・学生服等の繊維製造も盛んであり、製造業の割合が高い地域です。そのため、今後も多方面でポテンシャルを秘めた地域である一方、環境問題への対応が課題となっています。このような背景から、当社グループは、サステナブルな地域社会を実現できるよう、地域が抱える社会課題の解決に積極的に取り組んでいます。

● 主要産業

 **岡山県 76,958 億円**

上位3業種	実額（億円）
製造業	22,830
不動産業	8,318
保健衛生・社会事業	7,876

 **広島県 120,429 億円**

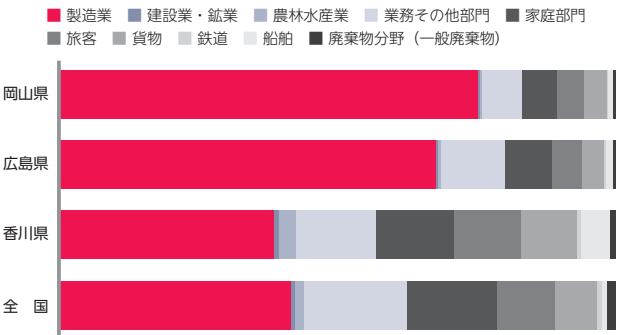
上位3業種	実額（億円）
製造業	35,378
卸売・小売業	17,107
不動産業	11,726

 **香川県 37,873 億円**

上位3業種	実額（億円）
製造業	8,656
卸売・小売業	4,914
不動産業	4,301

資料：各都道府県HP「県民経済計算」

● 部門別のCO₂排出量・構成比



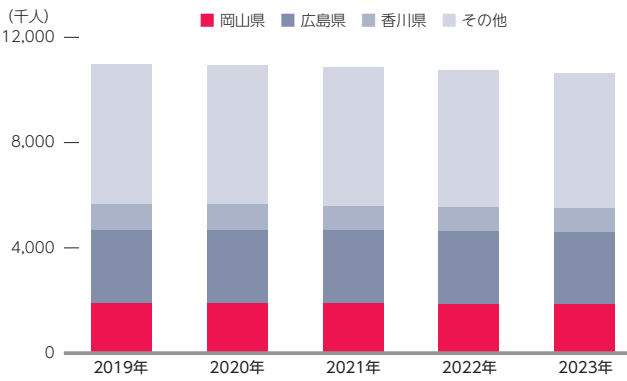
資料：環境省「自治体排出量カルテ」より当社グループ作成



人口・地域特性 ～地方圏の中核エリア・SDGs先進県～

東瀬戸内経済圏の人口（岡山県、広島県、香川県の合計）はおおよそ550万人。全国共通の課題である人口減少や少子高齢化等の環境下にありつつも、中四国地方の人口の半分強を占め、地方圏の中で中核的な役割を担っています。また、岡山県は、行政、大学・教育機関、地元企業、金融機関などが連携し、地域全体でSDGsに対する取組みが進むSDGs先進県とされています。

● 中四国地方の人口推移



資料：総務省「人口推計年報」毎年10月1日の推計値



自然環境（自然資本）～温暖な気候と豊富な資源～

岡山県は、降水量1mm未満の日が年間を通じて多く「晴れの国」と呼ばれ、瀬戸内地域は雨が少なく温暖な気候に恵まれています。豊富な森林資源を有する日本有数の木材生産地であり、豊かな水源と多様な生物に恵まれた自然の宝庫です。そうした環境を活かし、バイオマス等の再生エネルギーを活用した地域の活性化が進むなど、循環型社会への取組みも加速しています。

また、美しい景観が広がる瀬戸内海国立公園や蒜山高原など、観光資源としても高いポテンシャルの自然環境を多数有しています。



Topics

アマモ場再生の取組み

アマモは、水深10m未満の太陽光が届く浅く波の穏やかな砂地に生える海草であり、魚介類の産卵や幼稚魚の生息場となるほか、根から赤潮の原因物質を吸収することで水質改善の機能も果たしています。

海洋環境にとって必要不可欠な役割を果たすアマモは、生物多様性保全の観点から注目されるとともに、大気中の炭素を吸収・固定する「ブルーカーボン」として気候変動緩和の観点からも近年期待を集めています。

岡山県東南部の日生町では約30年前からアマモ場の再生に取り組んでおり、その先進的な取組みは現在世界中から注目を集めています。当社グループでは、瀬戸内海の藻場環境や生態系について学ぶ、実地調査を含む実験型ワークショップを開催するなど、生物多様性の保全に繋がる活動に積極的に取り組んでいます。

